



子どもの予防接種は、子どもを感染症から守るための大切なプレゼントです。
効果的で安全に定期の予防接種(※)を受けるために、もう一度確認しましょう。

～「その予防接種で予防できる病気は？」
 「接種間隔の数え方は大丈夫ですか」「予診票は正確に記入しましたか」～

● **予防接種とは**

子どもは、生まれて成長する過程でさまざまな病気にかかります。その中で、子どもの体はウイルスや細菌と闘い、その感染症に対する免疫の学習をして、抵抗力をつけて、病気にかかりにくくし、病気がかかってもひどくなるのを防いでいます。

予防接種は、この体の反応を利用しており、麻しんや百日ぜきのような感染症の原因となるウイルスや細菌などが出す毒素の力を弱めてワクチンを作り、それを体に接種して、後遺症を残すような重大な病気を引き起こす可能性のある感染症にかかる前に、その病気に対する抵抗力をつけます。

予防接種を受けることで、自分自身や周りの大切な人たちを感染症から守ることができます。

予防接種は、適切な時期(定期接種の期間)に必要な回数をしっかりと接種してください。

※ 町が予防接種法に基づき実施している予防接種(委託医療機関で実施しています。)



● **予防接種に行く前にもう一度チェック**

1. 事前に配布する予防接種の説明を読みましたか？
2. 予防接種の種類・回数は合っていますか？
3. 対象年齢に当てはまりますか？
 ※予防接種を受けることができるのは、定められた年齢の誕生日の前日までです。計画的に接種してください。
4. 接種間隔は大丈夫ですか？
 ※前回の予防接種からの間隔は？(違う種類の予防接種を受ける場合)
 ※同じ種類の予防接種での間隔は？(小児肺炎球菌初回3回目と追加接種の間隔など)
5. 予診票は、正確に記入できていますか？
6. お子さんの体調は良いですか？
7. ①予防接種予診票②母子健康手帳③健康保険証は忘れていませんか？
 ※子どもに予防接種に行くことを伝えて、医療機関へ行きましょう。

● **予防接種が終わったからのチェック**

1. 予防接種後の注意事項などでご不明な点はありませんか？
 分からないことは、医師に確認しましょう。
 2. 接種後30分程度は、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
 ※この間は、まれに急な副作用が起ることがあります。
 3. 母子健康手帳に正確に記入されていますか？
 ※本人の母子健康手帳か？接種日や予防接種名などは正確か？
 ※頑張って予防接種を受けたことを、しっかりと褒めてあげてください。
- **安全で効果的な予防接種のために、保護者の確認も大切です**
- 医療機関では、安全に予防接種を実施するために、子どもの体の状態や接種間隔などさまざまな項目を確認します。保護者の皆さんも確認しましょう。

● **接種間隔の数え方**

接種間隔は、それぞれの予防接種により異なります。事前に配布する予防接種の説明でご確認ください。

「6日(1週間)以上の間隔をおい」 「6日以上あける」

接種日は0日目と数え、接種翌日が起算日第1日目。接種日は含まず、間の日数のみを数える。

月曜日(☆)に接種した場合、1週間後の月曜日(★)から接種可能。

不活化ワクチン接種後に違う種類の予防接種を受ける場合の接種間隔などです。

「27日(4週間)以上の間隔をおい」 「27日以上あける」

月曜日(○)に接種した場合、4週間後の月曜日(●)から接種可能。

生ワクチン接種後に違う種類の予防接種を受ける場合の接種間隔などです。

「1月以上の間隔をおい」

- 1か月後の同日以降、接種可能。例えば、3日(△)が接種日の場合、翌月の3日(▲)から接種可能。
- 5月31日(□)が接種日の場合、6月に相当日がないので、7月1日(■)から接種可能。

月 (5月) 31 ★ 接種日	火 (6月) 1	水 2	木 3 ▲	金 4	土 5	日 6
7 ★ 7日	8 8日	9 9日	10 10日	11 11日	12 12日	13 13日
14 14日	15 15日	16 16日	17 17日	18 18日	19 19日	20 20日
21 21日	22 22日	23 23日	24 24日	25 25日	26 26日	27 27日
28 ● 28日	29 29日	30 30日	(7月) 1 ■ 31日	2 32日	3 ▲ 33日	4 34日



問い合わせ先

本庁 健康福祉課 保健予防係
 ☎0968・86・5724